

外科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 腹部ヘルニアに対する鏡視下完全腹膜外修復法に関する研究

【研究機関名・長の氏名】 北海道医療センター 長尾 雅悦

【研究責任者名・所属】 小丹枝裕二 外科 医師

【研究の目的】

当院で施行する腹部ヘルニアに対する鏡視下完全腹膜外修復法の有用性について検討し、今後の診療の参考にする。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

2015年4月から2022年11月の間に、当院にて鼠径ヘルニアを含む腹部ヘルニアに対して鏡視下完全腹膜外修復法(TEP/eTEP)を施行した症例

比較対象として、同時期に腹腔鏡下修復術(TAPP、IPOM、IPOM plus)を施行した症例

○利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、BMI、米国麻酔学会術前状態分類（ASA physical status classification）、performance status、術前合併症、術前診断、術後診断、術者情報、ヘルニアの局在・大きさ、ヘルニア分類(JHS/EHS)、術式、手術動画含む手術情報、使用するメッシュの種類・大きさ、手術時間、出血量、術後合併症、術後疼痛、術後在院日数、再発の有無など

【研究実施期間】

実施許可日～2023年11月30日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

2022年11月22日

[連絡先・相談窓口]

札幌市西区山の手5条7丁目1-1

北海道医療センター 外科 担当医師 小丹枝裕二

電話 011-611-8111 (代表) FAX 011-611-5820